

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名 称：ジェンダー視点が変える科学・技術の未来～GS10 フォローアップ～
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
 - ・共催：科学技術振興機構
 - ・後援：内閣府男女共同参画局・文部科学省
- 3 開催日時：平成 30 年 6 月 14 日（木） 13 時 00 分～17 時 00 分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

Gender Summit 10 で議論した内容に関するその後の取り組みや進捗状況、新たな展開等を関係者で共有し、更なる議論を行うことによって、ジェンダー平等に関する継続的な取り組みを実施する流れ（P D C A）を作る。
- 6 参加人数：

講演者等：16 名
その他の参加者：94 名
- 7 特記事項：

本フォーラムは昨年学術会議が共催した Gender Summit 10 のフォローアップが目的であったが、学術界、産業界などで確実に活動が進展していることを確認できた。参加者アンケートでは「大変よかったです」が 62%、「まあまあよかったです」が 36%、「あまりよくなかったです」が 2% と概ね参加者の満足度は得ることができた。

パネル討論では学術会議、大学、研究費配分機関、産業界を代表するパネリストが現状の問題と今後の進むべき方向を議論したが、それぞれの経験と立場から異なる意見の議論となり、簡単には結論が出せない状況と更なる議論が必要であることを参加者と共有した。今後、GS10 フォローアップ小分科会を中心に議論を進め、毎年フォローアップシンポジウムを開催する予定である。

本フォーラムには 3 名のメディア関係者が参加したため、今後の報道に期待したい。